

# 凍結精液ができるまで

## ① 精液採取



### ウシの精子



種雄牛を擬牝台に乗駕させ、採取者が陰茎を人工腔に誘導し、射精した精液を採取します。

牛は乗駕してからの射精が早く、「牛の一突き」とも呼ばれます。

1回の採取で5ml程度の精液が採取され、その中に約10億個/mlもの精子が含まれています。

## ② 希釈・充填

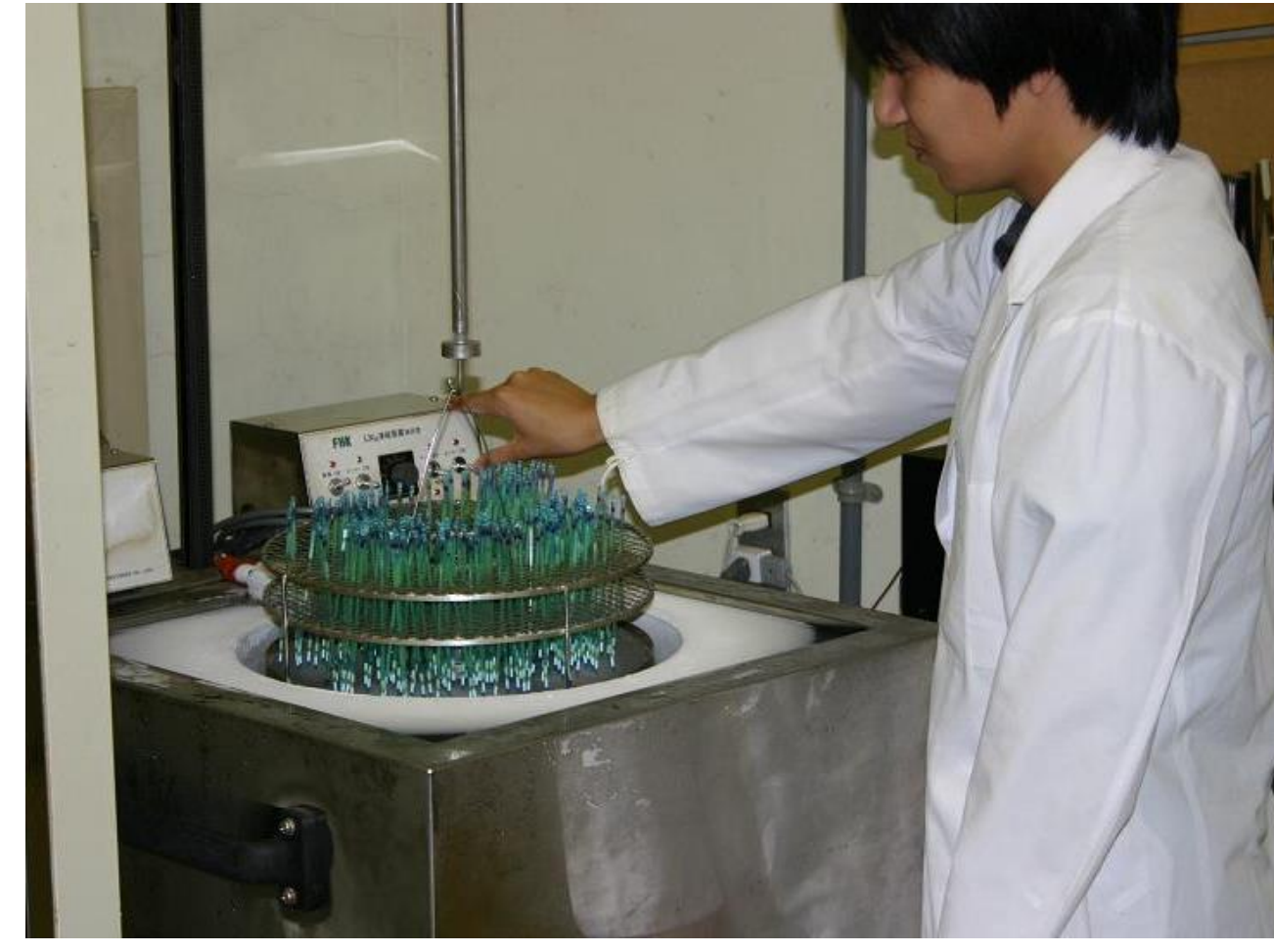


精液の希釈  
○凍結精液生産数増加  
○精子の耐凍性を高める



ストローに0.5mlずつ充填  
精子数＝約5000万個/本

## ③ 凍結・保管



液体窒素(−196℃)で凍結



専用ボンベでの保存で半永久的な保存・利用が可能

## ④ 検査

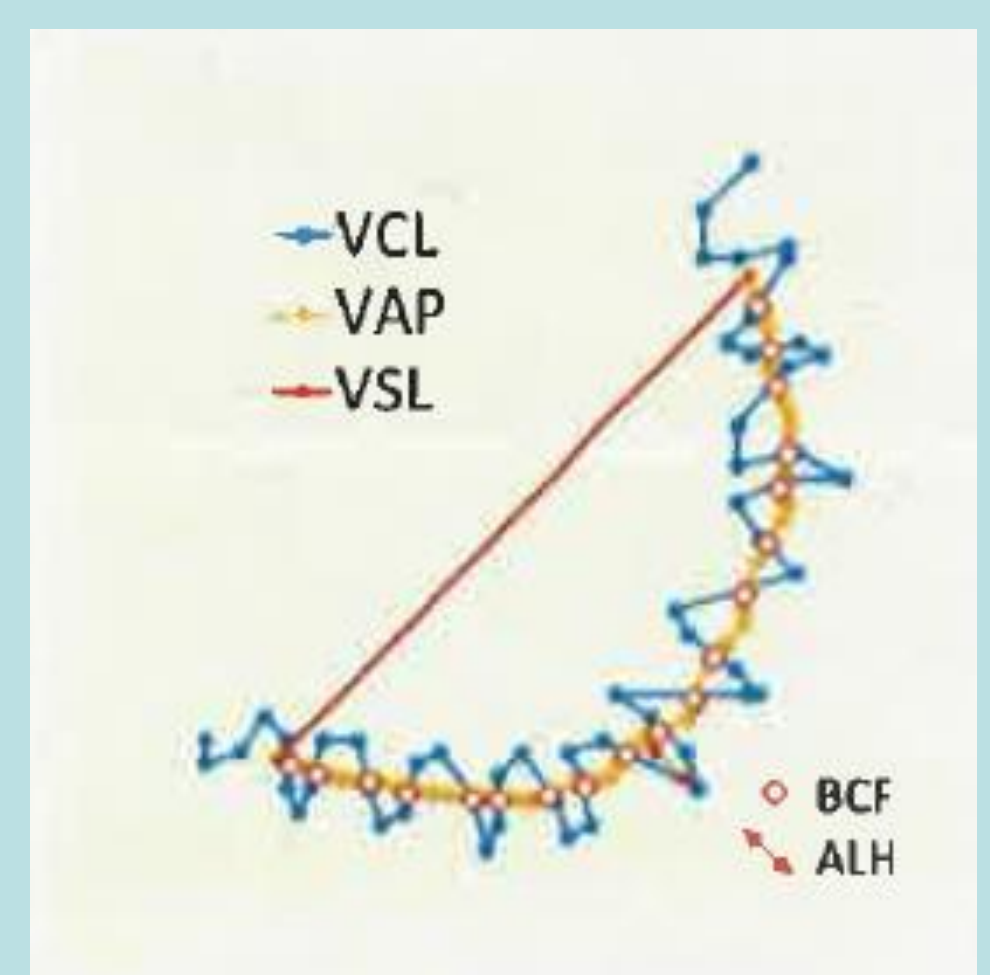
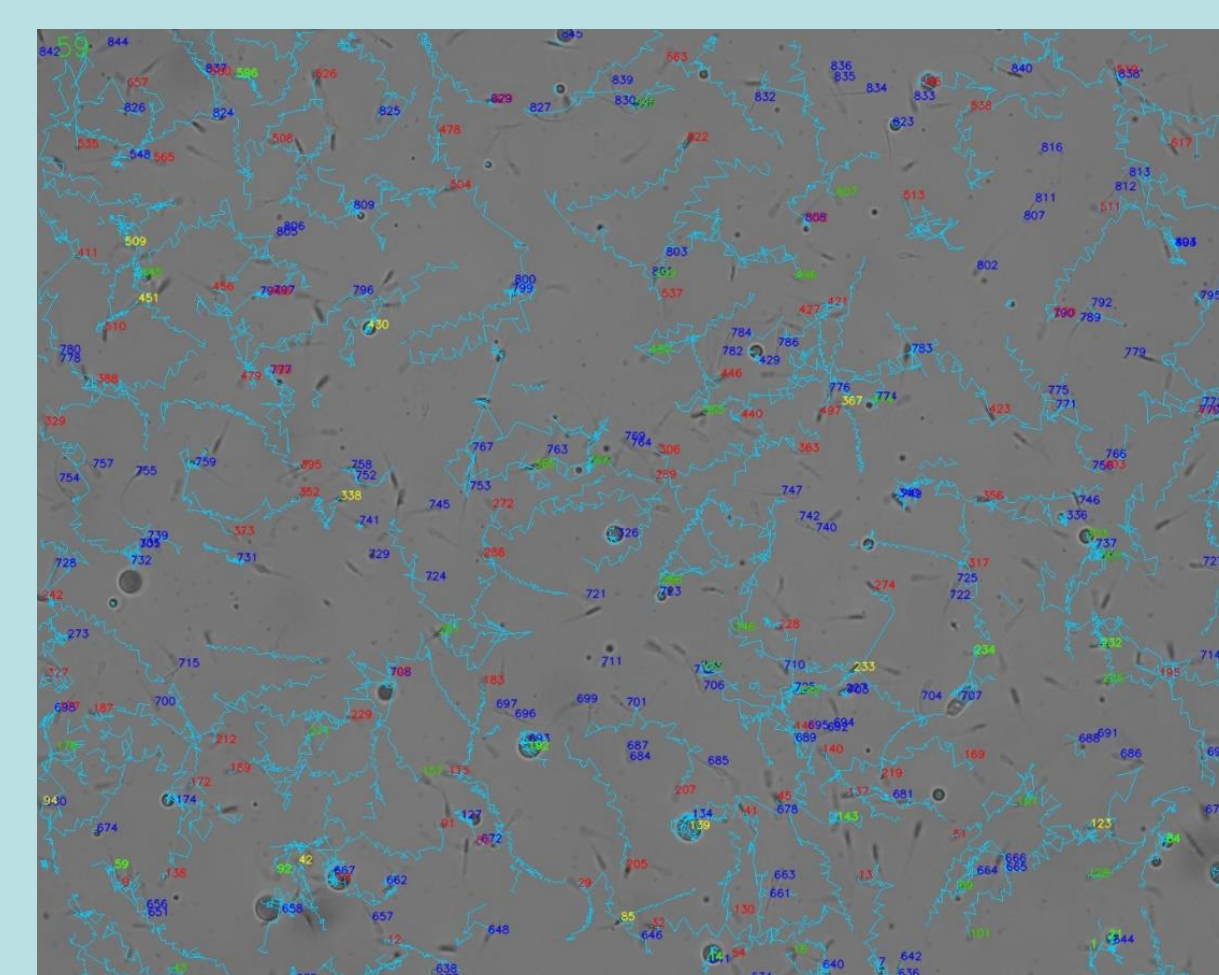
精液の品質に問題がないか確認するために、採取後と凍結後に検査を行います。

### ○検査項目

- ・色
- ・臭気
- ・精子の生存率
- ・精子の奇形率
- ・pH
- ・精子数
- ・運動性

## CASAを活用した精液生産の取り組み

CASA(Computer Aided Sperm Analysis)とは・・・コンピュータによる精子の運動性解析のこと。精子1つ1つの運動性が数値のデータとして測定される。



現在、当センターではCASAのデータを蓄積・分析することによって、精子に影響を与える要因を特定し、精液の生産体制の改良につなげる研究を行っています。

### 種雄牛

年齢, 採取間隔

### 環境

季節, 温度

### 手法

採取・凍結手法

